

堀金・穂高地区 里山文化ゾーンに整備する施設の紹介

□里山文化再生エリア

「里山文化ゾーンの表玄関」と「安曇野らしい農の体験学習活動拠点の場」を兼ね備えた安曇野の「本棟造り」を模した管理棟などの施設整備を行います。



□懐かしの風景エリア

「昭和30年代の安曇野の農風景の再現」をコンセプトに、開園区域からのお客様をお迎えするゲートや四阿などの整備を行います。



□棚田エリア

ナノハナ、ヒマワリ、レンゲ等で彩られた棚田内を散策する園路を整備します

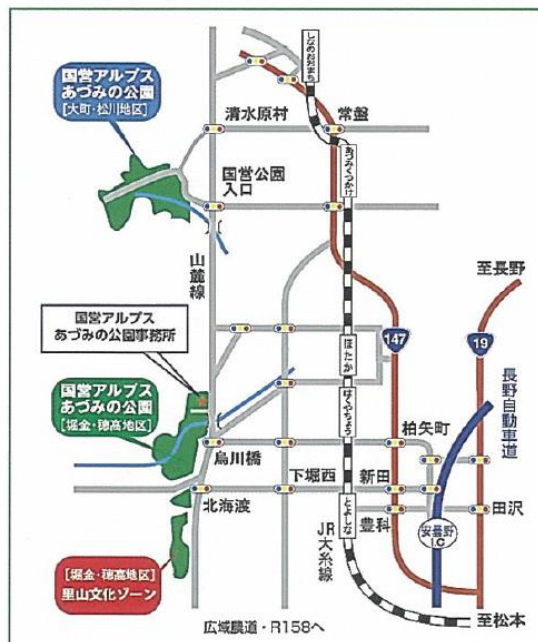


□里山の森づくりエリア

安曇野市内からも眺望できる「棚田」最上段に展望スペースを整備します。



交通のご案内



国土交通省関東地方整備局 国営アルプスあづみの公園事務所
 〒399-8305 長野県安曇野市穂高牧149-12 TEL 0263(83)6671(代) FAX 0263(83)8675
 URL <http://www.azumino.go.jp/>



堀金・穂高地区 里山文化ゾーン ～里山風景の再現と安曇野の風土の継承～



里山文化ゾーン 空撮写真



里山文化ゾーン 全体計画イメージパース

堀金・穂高地区 里山文化ゾーン 整備の概要

堀金・穂高地区里山文化ゾーンは、平成28年度早期の完成を目標に平成26年度より整備を進めています

ゾーンの特徴

■ 下記基本理念に基づく4つのエリアで構成され、面積は約49ha（東京ドーム約10個分）です。

「景・文化の保全と創出」 安曇野に伝わる懐かしい里山風景を再現し、あわせて安曇野を象徴する花の風景を創出します

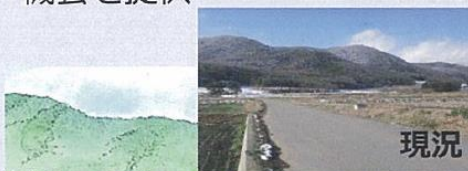
「自然環境の保全」 安曇野に伝わる懐かしい里山風景を再現し、あわせて安曇野を象徴する花の風景を創出します

「交流・地域活性化」 保全・創出した環境を舞台に、里山で育まれた技能・技術や文化にふれあえる体験・学習の機会を提供します



①里山文化再生エリア (約20.6ha)

里山文化ゾーンのメインエリアで、里山で育まれた技能や文化を蓄積し、再生した古田を活用した田植え体験や貴重な昆虫の観察などの活動プログラムを通じて体験・学習の機会を提供



■ サクチュアリーと自然観察会の開催状況



■ 田植え作業体験



■ 地域の風習・文化 (三九郎)



②里山の森づくりエリア(約7.3ha)

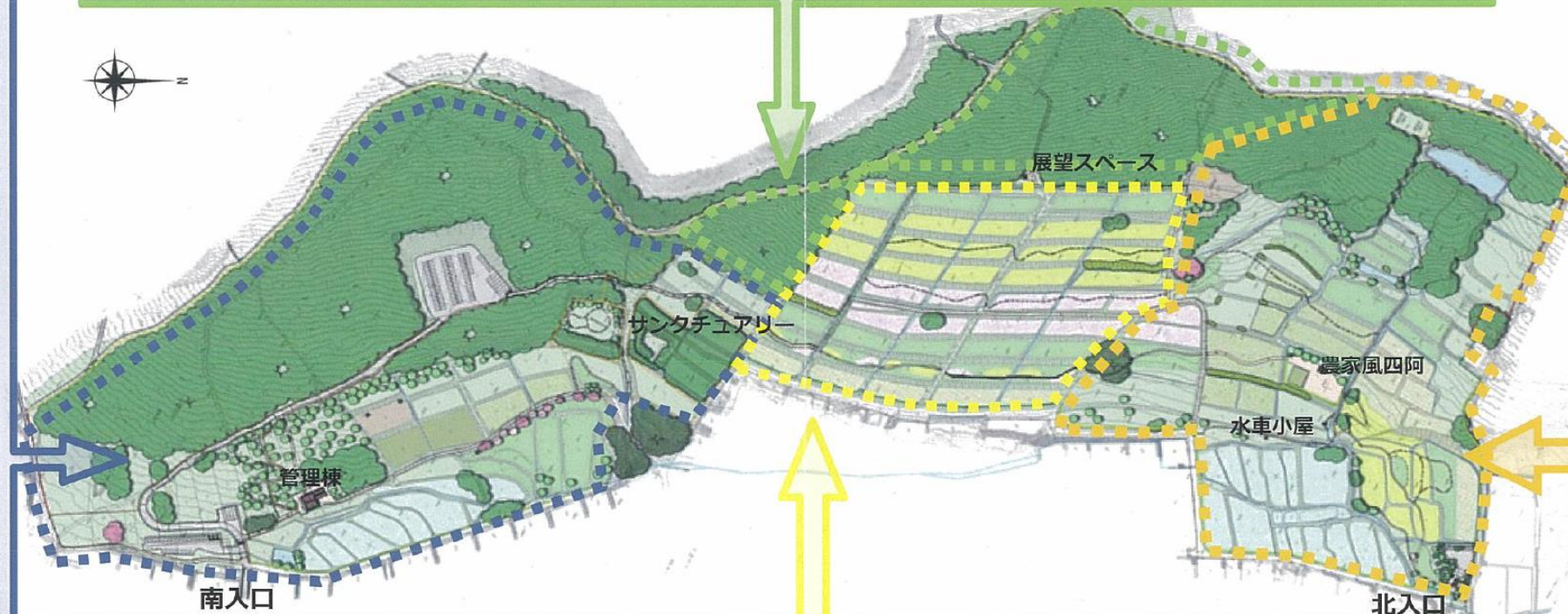
より多様な生き物を育む森に導く森づくりに様々な主体が関わって取り組むエリア



■ 間伐作業の体験



■ 樹林地内の観察会



③棚田エリア(約6.8ha)

かつての安曇野の水田を彩ったレンゲや近年の安曇野の風景を象徴するナノハナ、ソバなど季節の花を楽しむエリア



④懐かしの風景エリア (約14.3ha)

既に開園している区域から最も近い入口となるエリアで、県の名勝指定(庭園)の大庄屋山口家の南側に位置。戦前から維持されている耕作地「古田」の再生や地域固有種の生育環境の保全育成などを通じ昔ながらの田園風景を再生。



■ 田園風景の再生イメージ



■ 古田再生の事例 (ぬるめ※の再生)



※「ぬるめ」
稲の育成に適した水温に高めるための水路やため池の総称。本地区では、水田周りに巡らせた細い堰を「ぬるめ」と呼んだ。

「懐かしの風景エリア」 里山風景再生への取組み ～安曇野の里山文化発信の拠点を目指して～

里山風景再生に向けた取組

安曇野市堀金岩原地区に整備予定の「懐かしの風景エリア」は、戦前からの耕作地がその形状をほぼ変えることなく残る大変貴重な地域です。

「昭和30年代の安曇野の農風景の再現」をコンセプトに、古田や水路再生のほか、地域固有の草原再生に配慮した畦畔の修復などを行い、安曇野の里山文化の発信拠点を目指し、整備を行っています。

①古田の再生



②「ぬるめ」の再生



③畦畔の改修



里山風景再生後の利用イメージ

①再生した古田で開催する農業体験プログラムや、年中行事を通じ、安曇野の風土・文化とこれからの暮らし方についての新たな発見を導く情報発信の場として活用します。



②地域固有の草花や生きものの保全・育成に取り組み、自然観察会などの体験プログラムを通じ、生物多様性に富んだ自然環境との共存を目指した保全活動や啓発活動の場として活用します。

